

# 東北地方 1か月予報

(3月20日から4月19日までの天候見通し)

平成16年3月19日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

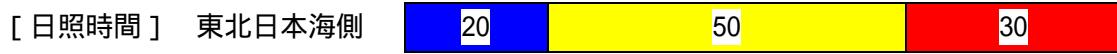
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化するでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は平年並でしょう。

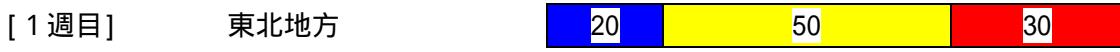
週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目共平年並でしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 3月20日(土)～4月19日(月)

1週目 : 3月20日(土)～3月26日(金)

2週目 : 3月27日(土)～4月2日(金)

3～4週目 : 4月3日(土)～4月16日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は3月26日

3か月予報:3月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	6.7	128.5	174.3	4.3	5.7	7.8
新庄	5.4	108.1	141.4	2.8	4.0	6.6
若松	7.0	69.4	162.7	4.0	5.6	8.4
深浦	6.0	93.8	163.8	3.5	5.0	7.3
青森	5.5	64.8	177.8	3.0	4.4	6.8
むつ	4.9	80.7	184.4	2.3	3.8	6.1
八戸	5.8	56.7	190.2	3.2	4.8	7.1
秋田	6.8	111.5	169.8	4.2	5.7	8.1
盛岡	5.7	93.6	173.1	2.8	4.4	7.0
宮古	6.3	98.8	189.9	3.8	5.3	7.5
酒田	7.5	106.7	161.6	5.1	6.4	8.7
山形	7.0	68.8	168.5	4.0	5.6	8.4
仙台	7.8	92.5	189.3	5.3	6.7	8.9
石巻	6.9	88.2	193.2	4.6	5.9	8.1
福島	8.5	84.6	186.6	5.8	7.3	9.9
白河	7.2	98.7	184.1	4.5	6.0	8.5
小名浜	9.0	130.8	185.8	6.8	8.1	10.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	85~111	96~105
東北日本海側	-0.3~+0.4	87~108	95~105
東北太平洋側	-0.2~+0.4	80~115	96~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.6	-0.5~+0.6	-0.4~+0.4
東北日本海側	-0.5~+0.6	-0.6~+0.6	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.5~+0.6	-0.6~+0.6	-0.3~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成16年3月19日 仙台管区気象台

## 1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月20日~4月19日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(3月20日~3月26日) :

期間の前半は高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、期間の後半は気圧の谷の影響で天気のくずれる日がある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(3月27日~4月2日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(4月3日~4月16日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

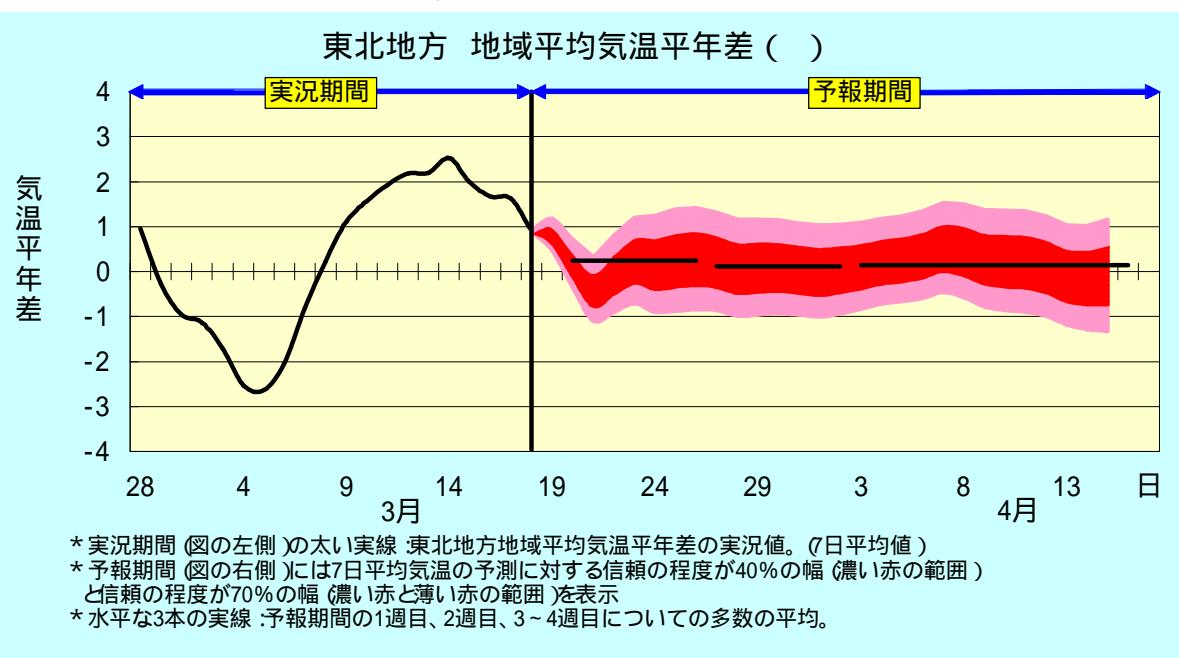
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.4日	3.3日	3.5日	7.6日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.2日	8.4日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

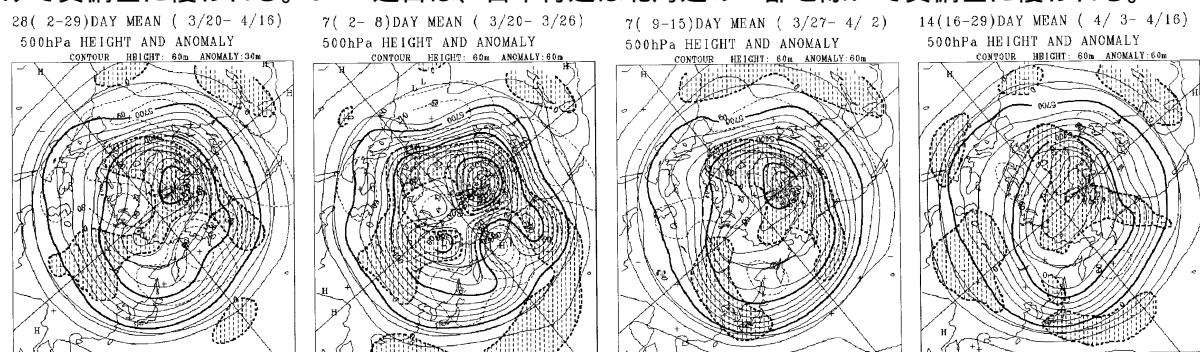


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、日付変更線付近の気圧の尾根が明瞭で、日本付近まで広く正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調。

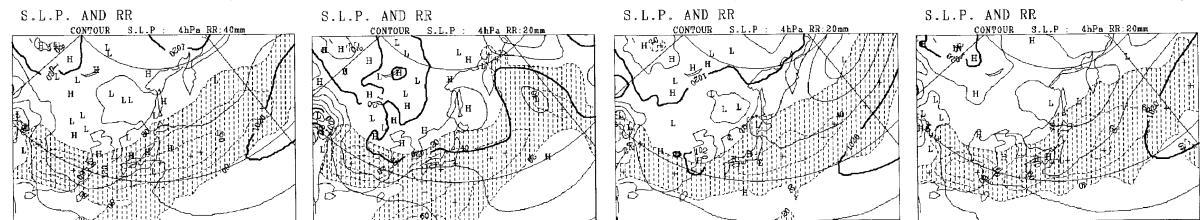
週別に見ると、1週目は日本付近が正偏差に覆われる。2週目は、本州からバイカル湖の西にかけて負偏差に覆われる。3~4週目は、日本付近は北海道の一部を除いて負偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は等圧線の間隔が広がり周期変化パターンだが、南岸に低圧部がある。降水域は日本付近に広くかかり、特に本州の太平洋側に帯状にまとまって予想される。

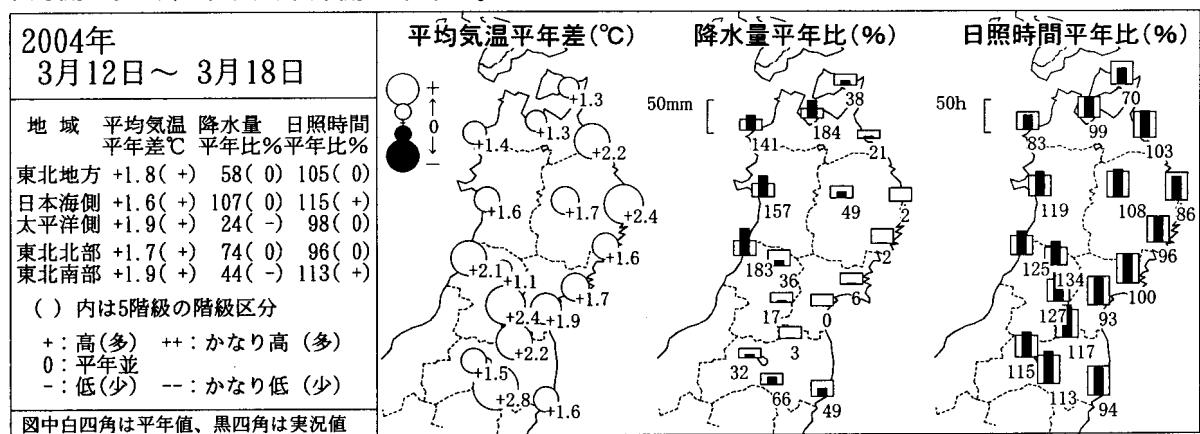
週別に見ると、1週目は高気圧がオホーツク海付近に予想される一方、日本の南岸は低圧部となる。2週目は日本付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は数日の周期で変わる見込み。3~4週目も2週目と同様、天気は数日の周期で変わる見込みだが、日本の南岸に低圧部が予想される。



### 4. 最近1週間（3月12日～3月18日）の天候の経過

この期間、高気圧に覆われ晴れる日が多かった。しかし、13日は気圧の谷、17日はサハリン付近の低気圧から延びる寒冷前線が東北地方を通過し、東北日本海側では雨となった。また、17日はサハリン付近の低気圧に向かって暖かい南風が吹き込んだため、各地で気温がかなり高くなり、盛岡、酒田、新庄では3月として日最高気温の極値を更新した。

平均気温は高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)